

事業 番号	事業名	事業概要	確定額 (千円)	事業区分
		事業実施により実現できた具体的効果・成果		
	事業者名	実施地等		重点等
		実施期間		
URL				

内53	International Development Field Camp for Myanmar and Japan Youth Leaders 2017	<p>「ミャンマーと日本の若者自ら交流機会を創り、将来に向けて関係を築いていく」という理念のもと、両国の大学生57名が、協働して文化交流会、ワークショップ・フィールド調査、セミナー等を実施した。</p> <p>日本とミャンマーの若者がプログラムの参加を通じて、両国の社会問題を把握し、社会問題の解決に向けた討論を行い、自己理解を深めた。事業の実施の結果、日本とミャンマーの深い関係を築くことができた。その中で達成した事として大きく3つ挙げる。</p> <p>一つ目は弊団体の新たな試みである国際関係、地域開発、そして教育という3つの分科会では、現地見学を実施した他、有識者による講演を行った。これらの取組みにより、見学を通じて得た実験と有識者から授かった知識による相乗効果が生まれ、両国の関係や社会問題を深く理解することができた。</p> <p>二つ目は、ミャンマーで実体験をもとに培った経験と学びえた知識をもとに、グループ内で議論を交わし、両国が感じる社会問題を挙げ、解決策を考案した。議論の過程では、両国の参加者にとって母国でない英語による会議を行い、文化の違いや人種や個人の認識の差といった不安要素や意見の衝突を乗り越えた話し合いが行われた。話し合いから終着点を見出し、シンポジウムにて発表することにより、学習内容を社会に発信し、世の中に還元した。</p> <p>三つ目は、日本とミャンマーの両国の参加者は周囲の事業参加者並びに関係者を鑑みて、自身を見つめ直し、今後の課題に挑戦する姿勢を示した。参加者自身が感じる現状の限界を把握した他、リーダーシップの発揮の難しさを学び、今後の自己の成長に向けた取り組みを行う姿勢を見せた。事業の中での体験と得た知識は、日本国内では得られないものであった。また、個人の限界を学ぶことで、人種や国籍を越えて他社と協力することを培った。</p> <p>これらの事業を実施した結果、日本とミャンマーの若い世代が両国を学び、自身を学んだことで、日本とミャンマー両国の深い関係を築くことを達成した。また、この事業の意義を見出した参加者による次年度開催のIDFC2018実行委員の立候補者が現れるなど、参加者の行動を起こす動機を与えることができた。</p>	1,000	国際会議
	International Development Field Camp for Myanmar and Japan Youth Leaders	<p>【実施地等】 ミャンマー</p> <p>【実施期間】 2017/2/14～21</p>		重点
	http://idfc2016.strikingly.com/			